

# あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 224

平成 29 年 4 月 1 日  
熊本県立図書館発行

## “レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

### Q. おたずね

カレンダーを見ていて気になったのですが、春の暦には立春や春分といった言葉がありますが、例えば4月にはこういったものがありますか？また一覧や由来などが分かるような資料はありますか？



### A. こたえ

「立春」や「春分」といった二十四節気は、古代中国で考えられたものです。中国では早くから農業が発展しており、正しい季節を知ることが重要でした。しかし当時は暦と季節が合わないことがあったため、一年を二十四等分し、正しい季節の推移を知らせる二十四節気が考えられました。ただし、中国の黄河流域の季節にもとづいて考えられたため、日本においては多少ずれが感じられます。

4月には「清明」や「穀雨」というものがあります。

清明は4月5日頃にあたり、春の光を受けて清らかで明るい様子をいったものです。

穀雨は21日頃にあたり、田畑の農作物に春雨が降りそそいで成長を促す様子をいったものです。

以下の資料では、二十四節気の一覧や、それぞれの由来、意味が分かりやすくまとめられています。

また、様々な地域や国で使われていた暦について書かれている資料もあるので、見てみてはいかがでしょうか。

- ・『こよみ事典』（川口謙二、東京美術）R449.8/ニ
- ・『暦の百科事典』（暦の会、新人物往来社）R449036/コ
- ・『旧暦読本 改訂版』（岡田 芳朗、創元社）449.3/オ
- ・「暦のすべてがわかる本」（高嶋 陽山、経林書房）148.8/タ
- ・『暦ことば辞典』（三省堂編修所、三省堂）449/サ



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp

(裏面もあります。)